

御成門中学体験入学 ―6年生―

9月13日(金)に御成門中学校で授業と部活動の体験をさせていただきました。まず初めに生徒会の人たちによる学校説明を聞き、小学校とは違う学校生活に関心を深めていました。その上で、事前に選択していた数学・体育・美術の授業をそれぞれ受けました。

数学、体育、美術の授業を体験し、体育では、小学校で使用しているものよりも一回り大きい跳び箱とロイター板を使って開脚跳びの練習をしました。授業体験後には、部活動の体験もさせていただき、クラブ活動よりも専門的な活動と中学生との関わりを心から楽しんでいる様子が見られました。集合場所に戻ってきてから友達と活動の様子を語り合う姿は、とても満足気でした。

体験後の感想では、「今回の体験で不安に感じていた中学校進学が楽しみになった。安心して進学できる。」などの声が多く上がりました。約半年後に迫った卒業や進学に見通しと期待感をもつことができ、子供たちにとって有意義な時間となりました。

(6年担任 田邊 あゆみ)

通学路点検

9月4日(水)の放課後に愛宕警察署の方々、PTA校外指導部の方々のご協力のもと通学路点検を行いました。子供たちが毎日登下校で通る通学路に防犯・防災上課題がないかどうかを確認するため、年2回の点検を実施しているものです。

今回は神谷町方面を中心に麻布の開発地域や来春開館の科学館周辺を点検しました。点検後の意見交換会では、「工事車両が多かった」「夜間になると人通りが少なくなりそうな道があった」等の意見が出されました。また警察の方からは、人が少ないところで危険がせまったら近くの家に逃げ込む等、子供への指導について具体的なお話をいただきましたので、子供たちにも伝えていこうと思います。

(生活指導部 吉村 徹志)



水泳記録会 ―6年生―

9月6日(金)に6年生は水泳記録会を行いました。

今年度から港区水泳記録会が自校開催となり、御成門中学校のプールをお借りして実施しました。今年は気温が上がらずになかなか水泳の授業を行えませんでした。限られた時間の中、子供たちはエントリー種目の練習に取り組みました。泳法を確認したり、ターンの練習に励んだり、一人一人が自己記録更新に向けて頑張りました。

記録会本番は、よい緊張感で競技に臨むことができました。スタート前の選手紹介で自分の名前が呼ばれると鼓動が聞こえてきそうなくらい真剣な表情になっていました。スタートの合図が鳴った瞬間、必死でゴールを目指しました。一生懸命泳ぐ友達の姿を見てプールサイドで見守る子たちの応援にも熱が入りました。大きな声で「頑張れ」「あと少し」という声援が響き渡りました。ゴールすると大きな拍手が沸き起こりました。

普段から仲の良い子供たち同士でもなかなかここまで大きな声で応援することはありません。子供たち同士が励まし合うよい機会となりました。この一体感をもって来月の連合運動会、11月の箱根移動教室に向かっていきたいと思っています。

洗濯やお子さんの体調管理等、ご協力ありがとうございました。

(6年担任 吉村 徹志)

引き渡し避難訓練

9月2日(月)の4校時に、大地震の警戒宣言が発令された場合や、災害等の不測の事態が発生した場合に備えて、児童を確実に保護者の方へ引き渡し訓練を実施しました。また、緊急配信メールを使った訓練も行いました。子供たちには、「非常時は家の方が引き取りに来ること」、「引き取りに来るまでは、学校で待機していること」、「タタメット頭巾をかぶって安全に身を守ること」などを指導しました。

当日は、保護者の皆さま方のご協力を得て、児童の引き渡しをしっかりと行うことができました。ご協力ありがとうございました。今後も、ご家庭と学校が連携し合い、子供たちの安全に努めてまいりたいと思います。

(避難訓練担当 望月 まり子)



海外派遣報告 ―6年生代表児童―

7月22日(月)～30日(火)の9日間、6年生代表児童2名が港区小中学生海外派遣に参加し、オーストラリアに行ってきました。

「文化の違いを発見」 6年2組 岡崎瑠海

オーストラリアでは、様々な文化の違いを見付けることができました。学校では、自分たちで教室の掃除をしないということです。その上、リセスと呼ばれるおやつタイムがあるので、教室は汚れているのだらうと思っていました。しかし、全くごみが落ちていませんでした。もし、日本にリセスがあるとしたら、きっと掃除をしても教室は汚れてしまうのではないかと考えると、教室をきれいに使うことがしっかりと身に付いているのだと強く感じました。また、家庭の水の使い方も違い、水資源が少ないオーストラリアと水資源の多い日本の生活の様子の違いがありました。驚いたことは、冬でも海や川に行くことです。氷水よりも冷たい川に入って遊ぶ姿は、日本では考えられないと感じました。

このような体験をさせていただき、本当にありがとうございました。これからの活動に生かし、つなげていけるよう頑張ります。

「経験が発見につながった海外派遣」 6年2組 高橋健

「I will write Austraria in Kanji.」「これからオーストラリアを漢字で書きます。」現地体験校で感謝を伝えるためのフェアウェルアッセンブリーで発表した書道パフォーマンスの台詞です。現地体験校での最後の交流でした。フェアウェルアッセンブリーは、オーストラリアでの学びを発揮できた時間でした。そんな学びを実現できた海外派遣は、一つ一つの経験が新たな発見につながり、これからの様々な挑戦への大きな自信とすることができます。このような経験を後押ししてくださった先生方、ご指導ありがとうございました。

道徳授業地区公開講座 9月21日(土)

今年度は、2校時に全学級で道徳の公開授業を実施し、3校時には、埼玉学園大学大学院教授の藤枝 静暁先生に講演いただきました。2校時の道徳授業では、主に「他者との関わり」について各学級で授業を実施しました。自分の思いを伝えるだけでなく、友達の思いを受け止めながら、考えを深めていました。3校時の講演会では、「親子の関わり方」をテーマに、保護者同士でコミュニケーションをとりながら、親子で自己肯定感を高めるためにどのような関わり方が大切なのかについて考えを深めることができました。

今後とも道徳授業を要として、学校と家庭で協力して御成門小学校の子供たちの心を育てていきたいと思えます。お忙しい中、ご参加いただき、ありがとうございました。

(道徳部 川西 洋介)